

外来管理加算に関するアンケート調査
結果速報（要約）

2009年1月14日

社団法人 日本医師会

目 次

1. アンケート調査の目的と方法	1
2. アンケート調査の分析	
(1) 回答医療機関の基本情報	2
(2) 外来管理加算の算定状況	4
(3) 外来管理加算を算定する患者数の変化	6
(4) 時間要件への対応	9
(5) 患者の反応	13
(6) 経営への影響	15
(7) 外来管理加算のあり方について	18
3. まとめ	23
調査票	26

1. アンケート調査の目的と方法

2008年4月の診療報酬改定では、外来管理加算の算定要件と点数の見直しが行われた。病院勤務医の負担軽減のために、医科本体の改定率（+0.42%、1,000億円相当）以上の財源が求められたためである。

外来管理加算の見直しにより、診療所では240億円の減額になると見込まれていたが、診療所では見込みを大幅に上回る影響が出ているとの声がある。また、医療に時間の尺度が持ち込まれたために、現場で混乱を来し、医療の本質を歪めているとの意見もある。

そこで、外来管理加算の見直しが医療現場に与えた影響を把握するため、2008年11月に実態調査を行った。

調査対象は、日本医師会会員の医療機関から、都道府県別に診療所1/20、病院の1/10を抽出し、診療所3,843、病院499、計4,342件に調査票を郵送した。回答数は、診療所1,744、病院226、計1,972（区分無回答2を含む）、回答率は、診療所45.4%、病院45.3%、全体で45.4%であった。

表1-1-1 回答数および回答率

	配付数	回答数	回答率
診療所	3,843	1,744	45.4%
病院	499	226	45.3%
無回答	—	2	—
合計	4,342	1,972	45.4%